

光を点けよ

フェニックス アリゾナ州 アメリカ合衆国

1964年01月25日

1 おはようございます、友達。聞こえますか？ありがとうございます。私は確かに今朝、そのような高貴な証しが与えられた後にこの説教壇に来てもう少し彼らが言ったことに対して何かを置くことが出来て楽しんで祝福を与えられたという特権を与えられているのです。さて、私はそれらのいくつかがとても..であることに気づきました... [マイクから轟音が聞こえます。]良くなりましたか？

2 ここにいる男性の何人か、彼らがどのように話しているか...ほとんどの人...まあ、ここにいる誰もが本当に明るく輝かしい証言を持っていました。私がそれをどれほど感謝しているでしょうか—主に対するそのすばらしい証し。

今、私たちはみことばに近づきます。そして、私は...今週、私は心の中で、この2時間と3時間、人々に私の話を聞かせないようにすることを目的としていました。友達、なぜそうするのかをお話しします。私は教育を受けておらず、靈感によってのみ話すことができます。さて、教育を受けた男は.....彼も靈感を得ています。しかし、彼は彼の教育によって彼が話していることを説明し、人々に彼が話していることを知らせる言葉を引き出すことができます。教育がなければ、私は自然の象徴を取り、私が持っている靈感を通して表現しなければなりません。そして、それは時々人々が本当に理解するのをかなり難しくします。私たちはそれを見つけます....聖書で神が同じように、同じようにされたことを見つけるまで、私はそれについて非常に不安でした。

3 バプテスマ(洗礼者)のヨハネのように、私たちは彼に教育の記録がないことに気づきます。そして、彼が荒野から出てきたとき、彼は会衆、その時代の教会に話し始めました。そして、彼がそれをどのように表現したかに気づきます。彼は言った、「お前たち、まむしの子ら！」ほら、それが彼が慣れ親しんだもの、つまり自然と荒野、言い換えれば、滑りやすく、ぬるぬるしていて、だましているものです。

さて、他の誰かが「なりすまし」と言う言葉、またはそれを表現するために使用できる言葉を書き留めることができたかもしれません。

しかし、ヨハネは「ヘビ」という言葉を使いました。私は誰もが彼が話していることを理解したと思います。それで、彼は言いました、「私たちがこれに属している、そして私たちがそれに属していると自分の中で言い始めないでください。」私があなた方に言います、神はここでこれらの岩を変えることがお出来になる。...ね。ほら、他の素晴らしいものではありません...「神はこれらの石を使うことができます...」彼は自然の中でそれを表現しました。そしてまた、「斧は木の根元に置かれています。」

同じ靈感を持った高学歴の兄弟が、「彼は全滅するだろう」と言ったかもしれません。彼は「斧は木の根元にある」と言いました。それはとにかくそれを全滅させます、見てください。それで彼はそれがそうであることを知っていました...あなたはそれらの表現を持っているだけです。おそらく彼は学校に通ったことがなかったのでしょう。

ちょっと頭を下げましょう。私はここで祈りを求めています。それが私のミニストリーであり、病人のために祈っています。さて、ここにいくつかのリクエストがあります。いくつかの非常に傑出したリクエストです。そして、私はここにたくさんいることを知っています。今朝覚えておきたいことがあるなら、神に手を挙げて「私は.....」と言ってください。さあ、私たちが祈っている間、あなたのリクエストをしっかり握って下さい。

4 我らの天のお父様、今、あなたの聖なる子、主イエスの名前を通してあなたの聖さに近づき、私がここにそれを手に持っているという彼らの要求を書いた各人々、特にこの兄弟の若い、その事故で引き裂かれた美しい娘。主よ、その子のために祈ります。

そして、私は他のすべての要求、そして今私たちに密かに彼らの手を挙げたものだけに...要求があることを祈ります。しかし、あなたは無限の神です。あなたはすべての動機と私たちのすべての要求を知っています。私たちがそれを信じるなら、あなたが約束したので、あなたが答えて下さるようにと祈ります。

そして、私たちは今、あなたが私たちが読むこれらのいくつかの言葉を取り、私たちがあなたを待っている間、それらを私たちに鼓舞して下さるようお願いいたします。聖霊が一人一人に近づき、みことばの解釈を明らかにして下さいますように。私たちはそれをイエスの御名によって尋ねます。アーメン。

5 [ブラナム兄弟が説教壇で誰かと話します。]はい、兄弟。ただ自分を助けてください。大丈夫です。

私が向きを変えている間、今、私は...以前は、メモなしで自分の聖句や物事を思い出すことができました。しかし、私は25歳を過ぎたので、それはあまりうまくいきません。私はそれを書き留めて覚えなければなりません。さて、私たちは行きます...(それはより良いですか?あなたはそれをよりよく聞くことができますか?いいえ、後ろで彼らは首を横に振っています。たぶん立っている必要があります...これ?聞こえますか?それはどうですか?それは良いですか?いいです。それは良いです。)

6 さて、私はあなたの注意をイザヤ書42:1から7に呼びたいと思います。マタイによる福音書第4章15節から16節にも。

わたしが支持する僕を見よ。私の選民、私の魂は其中で喜びます。私は彼に私の霊を置きました:彼は異邦人に裁きをもたらすでしょう。

彼は泣いたり、持ち上げたり、通りで彼の声を聞かせたりしてはならない。

傷ついた葦は折れてはならない...燻製の亜麻は消してはならない。彼は真実への裁きをもたらすであろう。

彼が地上に裁きを下すまで、彼は失敗したり落胆したりしてはならない。そして島々は彼の律法を待つであろう。

このように言った...主よ、天を創造し、それらを伸ばした主よ。地球を広げた者とそこから出てきた者。その上にいる人々にパンを与え、その中を歩く人々に霊を与える者:

私は主が義をもってあなたを召され、あなたの手を握ります...あなたを守り、異邦人の光のために民の契約のためにあなたに与えます。

目を開ける...盲目の目を開く、...囚人を刑務所から連れ出す、そして暗闇の中にいる彼らを刑務所の家から連れ出す。

7 そして今、マタイによる福音書4章12節から始めて、これを読みます:

さて、イエスはヨハネが捕えられたと聞いて、ガリラヤへ退かれた。

そしてナザレを去り、ゼブルンとナフタリとの地方にある海べの町カペナウムに行き住まわれた。

これは預言者イザヤによって言われた言が、成就するためである。

「ゼブルンの地、ナフタリの地、海に沿う地方、ヨルダンの向こうの地、異邦人のガリラヤ、

暗黒の中に住んでいる民は大いなる光を見、

死の地、死の陰に住んでいる人々に、光がのぼった」。

この時からイエスは教を宣はじめて言われた、「悔い改めよ、天国は近づいた」。

主は御言葉を祝福されます。さて、今朝の私のテーマは「光をつけて」です。そして、私ができる限り迅速に、あなたは今この次の予定に出かけることができます、それは約45分であるでしょう...

8 ...マカナリー氏を知っています(彼はそこにいると思います。彼のトラックを外で見ました。)しばらく前に私たちは座っていました...狩りに行くためにここアリゾナに行った最初の旅行の1つで、私たちはこの超常的な近くに座っていました山。私はそれを長い間聞いていて、迷信について語られた多くの伝説を聞いていました。一日の前に初めてそれを探したのを覚えています、そして、迷信として知られている大きな幽霊のような影が私の東にぶら下がっていました。私はインディアンについて、彼らがそれに近づかない方法、彼らがどのように恐れていたか、彼らが金を探していた初期のスペイン人が彼らを虐待した方法について聞いたことがあります。彼らは悪霊が彼らの中に住んでいたと主張しました。これらすべてが私の好奇心をかき立てました。

しかし、私は迷信を最初に見るための懐中電灯しか持っていませんでした。そして、しばらくして、太陽の威厳が暗闇の上で動き始めるまで、私は見ていました。そしてそれが起こったとき、それは闇を光から分離し、闇を押し戻しました。ついに彼女は山の頂上まで彼女の高さまで上がりました。そしてそれは迷信を示しました—それが何であったか。それが点灯し、それが何であるかを示しました。そして、すべての不気味

な人たち、そして私が迷信について持っていた恐れは、太陽がその力で輝いていたとき、すべて逃げました。

9 自然光の中で、太陽はこの地球上のすべての光の王様です。どんなに多くの人工光を得ることができ、どれだけ多くの素晴らしい光線を生み出すことができるとしても、その太陽が昇ると、残りのすべてが暗くなります。それは神の言葉と同じことです。神の言葉が上がると、すべての迷信、宗派の狂信、そして物事が広がります。そしてそれはまさにそれが何であるかを示しています。神は初めに「光あれ」と言われました。光は神の言葉によってのみ来るのです—真の光、王の光—が来るのです。

神は初めに光と闇を分けました。そして、明らかにされた神の言葉は常に光と闇を分けます。人々はこれ、あれ、または他のもので立ち上がることができます。イズムは上昇する可能性があります: 共産主義、ファシズム、および他のすべてのイズムは上昇する可能性があります。迷信やカルトは、それが何であれ、上昇する可能性があります。しかし、聖書のその王の光が上がると、すべての迷信や物事が……。

しかし、ご覧のとおり、私たちはそれがそこにあることを知っていますが、それが立証されるまで、その光を証明します... それから私たちはそれに反対する権利はありません—それは他のすべての光を遮断するからです。

イエスは、「すべての人の言葉を嘘としても、私の言葉を真実としなさい」と言われました。彼の言葉はすべての人の言葉よりも、何よりも優れています。彼の言葉は光なのです。

10 そして、世界が変わっていったので、最初は霧がかかっている、陰鬱で、暗かったに違いないことを私たちは知っています。そして、神が光を必要としていることを知ったとき…。さて、彼はそれをそこに植えたので、彼の種(子孫)はすでに地球にありました。今、彼はその種を生かすためにその種を生み出すために光を必要としていました—その種はすでにそこにあったからです。

それが各時代にあるように。神は私たちにそれぞれの時代に何が起こるかを予告されました。彼が必要とする唯一のものは、その聖句に神の光を現し、それをその時代のために生きさせることです。そして、光がみことばに届く限り、それはそれを行います。みことばが発芽したならば、それがその日の約束であるならば、それはそれを生かすでしょう。

一度に小麦を植えたり、別の時に穀物を植えたりするかもしれません。季節によって異なりますので、遅くなるものもあります。神の言葉は季節に來ます。私たちが時代を超えて進んできたように、律法や恵みなどです。そして、それは種の中にある生命を広げる光の現れによって照らされるたびに。

11 神の言葉によって、今日は太陽が輝いています。なぜなら、私たちが楽しんでいる太陽そのものが、神の言葉が明らかにされたからです。私たちが外で見るとこのまさに日光は、神が「光があるように」と言われたときの神の言葉に他なりません。

そして、もし彼が「光あれ」と言われ、光がなかったらどうなるでしょうか？ それからそれは神が話されたものではありませんでした。神が「そこにあるように…」と言われるとき、そこにあるでしょう。そして、私たちが今楽しんでいる太陽は、創世記で語られた神の言葉の現れであることがわかります。

そして、私たちはその日の神の光が神の御子であることを理解しています。1つはs-u-nでした。これはS-o-nです。S-o-nは聖書です。彼は……「初めにことばがあった、ことばは神と共にあった、ことばは神であった。」ヘブライ人への手紙13:8:「彼は昨日も今日もいつまでも変わることがない。」それはいつも神の言葉です。

それはノアの内にいたキリストでした。それはモーセの内にいたキリストでした。その都市で拒絶された王として見上げられたのはダビデの内にいたキリストでした。800年後、キリストはそこに座って都市全体を見て泣きながら、ダビデと同じように拒絶された王でした。それは常にキリストの霊です。そして、神の言葉の完全な現れは、神の霊であるイエス・キリストを通して知らされました。

12 生命は光の外に來ることはできません。生命は生命を生み出す... 光は生命を生み出す。自然的または靈的な光の外での生活はあり得ません。神の言葉によって來ることができるのは光だけです。

神の言葉はそれが現れたときの命です。神がすべての種を植えたので、それはここに置かれている単なる種です。私たちの体は世界の前に地球上にありました... まあ、ここに光があったり、ここに生命があったりする前に。カルシウム、カリウム、石油、宇宙の光、それがここにあったものは何でも、神が地球を創造したときにここにありました。それが植物学の生命、木の生命、またはあるべきあらゆる生命と同じように、それを

実現するために彼の話された言葉だけが必要でした。

13 彼の光がなければ、自然であれ霊的であれ、何も生きることはできません。そして彼の言葉は光と命です。

しかし、彼が彼の光を送り、それを人々に知らせ、そしてそれが拒絶されたとき、それではどうでしょうか？それが今朝私たちが話したいことです。この光を拒絶しています—彼らによってそれが送られ、当時と同じように拒絶されました。

「私が喜んでいて僕を見よ。彼は異邦人への光であり、世界への光である。」彼は世の光でしたが、拒絶されました。それは悲しい部分です。そして、それはその条件を満たす。神が彼の光を現すたびに、世界自体がその光を拒絶します。なぜですか？それは聖書に正しく書かれています。各時代...神は各時代のために彼の言葉の多くをたくさんありました、そして彼はいつも誰かにその言葉を明らかにするために送ります。

14 イエスは4000年の間、救世主が来ると預言されていました。そして彼が来るとき、彼はメシアのすべての約束を明らかにしました。しかし、それでも、世界中の人々や教会などは、彼について何も知りませんでした。なぜなら、彼らは...他の何かをして、彼らがこれを知ることを見逃していたからです。

さて、もし男がただ...私たちは自然な部分を取ります。その太陽の光の中で歩くためにここで生まれた男(神が彼のために作成したもの)、そしてあなたが最初に知っていることは、彼が目を閉じ、地下に駆け込み、ドアを閉め、日よけを下ろし、そしてちょうど太陽の輝きを認識することを拒否します。彼は自分の特権を否定している。彼はその温かい光線、その生命を与える資源を否定しています。彼は彼がどこに向かっていいのか、彼がどこから来たのかを見ることができるよう、拡散された光を否定します。彼はそれを否定します。日よけを下ろしたり、地下室に駆け込んだりして、どこでもすべての明かりを消した男に、あなたは何と言いますか。太陽が輝いていることを認識することを単に拒否しただけですか？

その人には精神的に何か問題があります。誰もがそれを知っています。自然な心は、その人に何か問題がある、彼は...彼は...彼に何かが起こったとあなたに言うでしょう。彼は理由を失った。

さて、私たちが生きている時間の中で、ある種の言い訳で人が身を隠すときもそうです。今日のように輝いている福音の光を実際に認識するためです。男が故意に背を向けて何かに入ってカーテンを下ろし、「信じられない」と言うと、その人に何か問題があります。それを回避する方法はありません。何か問題があります。彼に何かが起こった。そして、今日、その多くが存在することがわかりました。

15 さて、イエスは.....靈感を受けたすべての預言者の証言と彼らのすべての予言は、彼の時代のために予言されていた彼の時代に明らかにされました。彼は彼の預言された聖書にある言葉のすべてのろうそくに火をつけました。「処女は妊娠するでしょう。」彼女はそうしました。大丈夫です。「霊妙なる議士、大能の神、とこしえの父、平和の君」と呼ばれるであろう。」彼はそうでした。そして、「盲人の目が見えるでしょう。」彼らはそうしました。彼について預言されたすべてのことは、彼が地上に来たときに起こりました。そして、なぜ人々はそれを見ることができなかったのか...それは....

バックミラーを通して振り返っている、今は奇妙に思えます。しかし、あなたは今までに知っていました、あなたがそのように振り返り続けるならば、あなたは大破するでしょう。私たちの将来を見てみましょう。

16 それが彼らがしていたことです。彼らがそれをした理由は、彼らが別の光のまぶしさの中に住んでいたからです。彼らは別の日の光のまぶしさの中で生きていました。そして、それが今日の世界の問題であると私が信じていることです、友人たち、私たちは別の日に輝く光のまぶしさの中で生きようとしているからです。

まぶしさは、道路上の蜃気楼のように、偽の光です。私たちは道を下りて、蜃気楼を見ます。それは太陽の誤った概念です。そして、そこに着いたとき、それは何か間違ったものを生み出していません。なぜなら、それは常にあなたに何も無い何かを見せている蜃気楼なので、太陽のまぶしさの中を歩くことはできません。

そして、イエス・キリストは昨日も今日もいつまでも変わることがないと人々があなたに伝えようとするとき、彼らはあなたを蜃気楼に導きます。それだけです。そして、あなたが教会に入って教会に参加するとき(いくつかの冷たい信条またはそのようなもの)、あなたが世界に持っていたもの以上のものは何もありません。

17 言っておきますが、聖霊の温かい光線をあなたにもたらずイエス・キリストの福音の光を拒否しないでください。あなたはキリスト・イエスの新しい生き物になります。別の時代のまぶしさの中を歩こうとしないでください。さて、そのまぶしさは他の時代には大丈夫だったかもしれませんが—それは彼らにとっては大丈夫だったかもしれませんが。

それは私たちの主イエスの時代にそう証明されました。彼はその日の聖句の光でした。彼は光でした。彼は約束されたみことばを立証するために地上に来るまで、光はありませんでした。ご存知のように、彼はそこで「ヨハネは明るく輝く光であり、あなたは彼の光の中を季節の中を歩くのが好きだった」と言いました。確かに、ヨハネは生まれる712年前にイザヤによって預言されていたので、荒野で一人の声が泣いているのです。

そしてまた、最後の預言者であるマラキは、彼が来る400年前に、マラキ諸第3章で、「見よ、私は道を整えるために私の顔の前に使者を送ります」と言いました。ここに地球上のジョンがいて、その書かれた言葉を生かしました。彼は荒野で泣いている人の声でした。そして彼はまた救世主の前に道を準備していました。

そしてイエスは、「あなたは彼の光の中を歩くのが大好きです」と言われました。なぜなら彼はその明るく、明るく輝く光だったからです。

そしてヨハネは言いました、「今、私は減らさなければなりません。私の光は消えなければなりません。なぜですか？ 私は自分の予言された時間に仕えてきました。あなたがたは彼の言うことを聞きなさい。彼がその一人です。彼に従ってください。」

その時代に生きて、それはそれを証明しました....

18 さて、ユダヤ人たちは彼らが真の光の中で崇拝していると思いました。彼らは自分たちが断っていたのと同じ神を崇拝していると思っていました。彼らが崇拝していると思ったまさにその人、彼らは十字架につけていました。彼らはまさに神をからかい、神を人々の笑いの種、つまり彼らが崇拝していると思ってたまさに神にしたのです。

畏敬と敬意を持ってこれを言いますが、光をもたらすためです。なぜなら、兄弟が少し前に言ったように、私たちはあなたが思っているよりも遅く生きているからです。近いうちのある日、何かが起こるでしょう。手遅れになるでしょう。しかし、人々は自分が何をしているのかさえ知らずに獣の印をつけます。「盲人が盲人を導く、彼らは皆溝に落ちます」とイエスは言いました。そして、私たちは思っているよりも遅く生きています。

多くの正直な人々は、彼らが何をしているのかさえ知らずに、それに従います。しかし、その時が近づいています。今、光が輝いているとき、福音の光がイエス・キリストの復活の力にあり、イエス・キリストが昨日も今日もいつまでも変わることがない事を示しています。彼はこの日のためにそれをくじけました。彼が今日に約束したことはこの日に起こらなければなりません。教会がそれを受け入れないなら、神はこれらの石で子供たちをアブラハムに引き上げることができます。彼はいつもそれをしているので、彼は彼のメッセージを伝えるでしょう。彼はいつもそれをします。

19 彼らが光の中を歩いていると思っている人々(父親の伝統)、そしてあなたが彼らが光のまぶしさの中を歩いていることを最初に知ったのは、同じ光ではなく、彼らが崇拝していると主張するまさにその光を拒絶したのです。彼の作品は彼が誰であるかを徹底的に立証しました。イエスはご自身でこう言われました。「聖書を調べてください。聖書の中には永遠の命があると思います。そして彼らはわたしを証する者たちである。誰が私に罪を非難することができますか？」彼は言った、「天の父が私を通してそれを立証していないことを、私が何かを言ったこと、または私がした主張を誰が証明できるでしょうか？」彼らは皆、この救世主がこのようであるべきだと予言したので、彼が時の光であることをあなたに証明しました。そしてここでそれは生き返りました、しかし彼らの伝統は彼らを見ことばの本当の光から切り離しました。

20 パリサイ人、サドカイ人、ヘロデ人、そしてそれが何であれ、彼らはすべての時代と同じように、本当の光を見ることができないほど世界を荒らしていました。それは彼らの目をそらしました。彼らはまぶしさの中を歩くのに慣れていました。翌日はこれになり、明日はこれになります。私たちはこれに参加します、それはそれになるでしょう、私たちはこれに参加します。それは偽の蟹気楼であることがわかります。イエス・キリストは今日、人間の心にとってかつてないほど本物です。彼の力と彼の生きている存在は、今日もかつてないほどリアルです。

「ああ、しばらくすると、世界はもう私を見ることができなくなります。世界の秩序である宇宙は、もはやわたしを見ることはないだろう。しかし、あなたがたはわたしを見るであろう。わたしはあなたと共に、あなたの中にさえ、世の終わりまでいるからである。私がする仕事もあなたもしなければならない。私が父のもとに行くので、これよりもさらに大きなことをしてください。」その大きな約束は今日です。世は彼らのある限り盲目です。しかし、「わたしを見る者」がいるのです。

そして、それが今日私たちが得ようとしているものです。

全福音に必要なのは、イエス・キリストを復活の力と約束のすべての成就で表現することです。聖霊がこれらのことを明らかにし、それらを正しくすること。神が約束されたこと、そして神はそれをなさるでしょう。はい、!

21 彼はみことばと彼がしていた業によって徹底的に立証されていました。しかし、彼らの誰もそれを信じたくありませんでした—彼の光がみことばであることを証明しました。みことばがそれを言いました。「聖書を調べなさい。」

しかし、彼らが生きていた彼らの伝統、別の時代のまぶしさ…。彼らは言いました、「私たちはモーセを信じています。モーゼ…私たちが信じている人。私たちはあなたがどちらから来たのかわかりません。どこで教育を受けましたか？あなたがこれであることを何で証明できますか？」

彼の業は、もし彼らが聖書を読むだけなら、彼が誰であるかを証言しました。彼らはそれを読んでいましたが、彼らはそれを見ることができませんでした。「私の業が私を識別します。」

22 人は自分の信任状、神の言葉の信任状によって知られています—もし彼が神の言葉によって、そして神の言葉によって送られたのなら。

すべての時代で同じなのです。それはいつもされています。私たちは昨日の光で生きることはできません。昨日の光は歴史です。私たちはそれについて何も知りません。今日は昨日輝く太陽で暖かくなりません。それが今日の教会の問題です。それが人々の問題です。彼らは昨日起こったことによって生きようとしています。塗られた火で暖めることはできません。確かに違います。熱はありません。昨日の太陽には熱がありません。

23 日光は自然の中で地球に送られ、収穫を進めるために穀物を熟成させます。毎日新しい太陽が生まれます。今日輝いている太陽がカナダで小麦を育てています、同じ太陽…なぜ、来たる7月か8月よりも太陽がなければ、穀物を熟成させることはできません。それはより強く、より強力でなければなりません。毎日それは成長し、成熟して穀物をもたらします。さて、もし穀物自体が成熟始めると、穀物が出てきます。それが穀物と正しいままであるならば、それは穀物を造るだけです。

毎日それは…その周りの殻、その部分(カルシウムとその中に入るものは何でも)は、太陽が強くなるにつれて穀物の中に直接組み込まれます。

24 しかし、あなたは8月に輝く太陽を取り、今日小麦の上にそれを置くと、それはそれを殺すでしょう。確かに。あなたはそれをするにはできません。それはその季節に来なければなりません。

ですから、神の小麦と穀物はちょうどその季節、その季節に熟す必要があります。しかし、どうして太陽が…小麦は死に、果物は今日生きる太陽によって死ぬでしょう—むしろ今日輝くのです。収穫が近づいています。熟している。穀物は光で成熟するはずですが。

しかし、問題は、今日、教会の穀物は成熟したくないということです。それはムーディーの時代、サンキー、フィニー、ノックス、カルバンに戻ったようにとどまりたいと思っています。彼らは大丈夫でした。彼らは時の光でした。しかし、これは別の時間であり、これは別の日です。これが福音の進歩であり、その成熟に至っています。ですから、ルターが言ったこと、ウェスリーが言ったこと、またはそれらの残りのいくつかに生きることはできません。私たちはこの日のために予測された光の中で生きています。私たちは7番目の教会時代にいます。3番目または4番目の教会時代ではありません。穀物はそれを受け取ることができるはずですが。そうでない場合、それは脱落し、それは何の意味もありません。それが光とともに進むならば、穀物は光とともに成熟します。

25 ですから、教会が各時代のパンを生み出すべきであるならば、イエスは「人は神の口から出るすべての言葉によって生きる」と命じられました。私たちに必要なパンは聖書にあります。それは神の計画の完全な

啓示です。それはイエス・キリストの完全な啓示です。私たちはそれに何も追加しないか、そこから何かを取ります。誰でも、彼の名前は命の書から取り除かれます。

これに追加する信条は必要ありません。本来あるべき姿で書かれています。何も追加しません。それから何も取りません。それをそのまま説教すれば、神は...それを明らかにするでしょう。彼が約束したすべての約束、彼はそれをまったく同じように明らかにします。私たちはそれから取ったり、それに追加したりするべきではありません。そのままにしておいてください。

26 しかし、ご存知のように、今日、私たちはその時代のような人々を見つけています。まぶしさの中で生き返ろうとしているのです。教会は小麦が熟すにつれて熟す必要があります。その人はパンだけで生きるのではなく、神のすべての言葉、命のパン、つまり言葉の一部だけで生きるのです。すべての神の言葉、すべての時代。

いつも豆やジャガイモを食べ続けられないでください。神の民の前に置かれる神の素晴らしい夕食、聖霊の力、それを喜ぶこと、与えられた御霊の力の全コースに進むとき、それには他のことが起こります。

「私がする業をあなたもするでしょう。私が生きているので、あなたも生きているのです」とイエスが教会に約束したことです。それでも今日、私たちは人々が過ぎ去った他の時代に戻ろうとしているのを見つけます。

27 ルターの時代—それは素晴らしい時代でした。彼はカトリック教会の欠陥を見て、交わりを見ました。その若い司祭、彼はそれが間違っているのを見ました。それは文字通りのキリストの体ではありませんでした。彼らが祝福したのは一枚のパンでした。そして彼はそのワインが文字通りの血ではないことに気づきました。しかし、それは血を表しています。それで彼はその時がそこにあったのでその事に抗議しました。そして、彼らは何人の司祭を持っていても、そして彼らが何を持っていても、神は光を輝かせることができる人を手に入れました。アーメン! 信仰によって義化を受け入れ、彼はルター派時代の光を輝かせました。それがやって来た後、それはそのタイムアウトを生きました。

28 教会がその罪から逃れ、聖化されるべきである別の時が来ます。それに沿ってジョン・ウェズリーがやって来ます。イギリスの向こうから来た、英国国教会に所属していた英国国教会の小さな男です。しかし、彼は福音の光を見ました。そのヒラデルヒア時代が到来する時でした。そして彼がそうしたとき、彼はイエス・キリストの血による聖化の第二の恵みの業を説教しました。その光の中に立つことができるものは何もありませんでした。

ルターがそうであったように、彼は狂信者と見なされていました。しかし、彼は残りのすべてがそうであることに抗議し、それが時の光だったので、光を輝かせました。神は明かりをつけることができる人、ジョン・ウェズリーを見つけました。彼はまた、その時代に明かりをつけたルターを見つけました。

次に、ペンテコステ派の兄弟たちがやって来ます。彼らは賜物の回復の時代に戻ってきます: 異言で話すという賜物、癒しの賜物、そして教会への物事を回復させました。今、彼らは聖書が彼らがするだろうと言っていることを正確に行いました。そして彼らがそうしたとき、彼らはそれを明らかにしました。その通りです。

29 しかし、あなたは気づいていました、私たちはそれから先に進みましたか? 私たちは花嫁の時代、選択の時代、花嫁が...彼らが私たちが持っていると言った時代にいます。「わたしがあなたがたに送った大軍、すなわち群がるいなご、とびいなご、

滅ぼすいなご、かみ食らういなごの食った年をわたしはあなたがたに償う。」とヨエル2:25は言いました。」

それらの組織のそれぞれ(あなたが聖書の7つの封印を読んだなら)、それらの改革者のそれぞれは出て行ってみことばを説教しましたが、何かを残しました。それでは彼らは何をしましたか? 改革者が終わって、光が暗くなり始めた後、彼らはそれを組織化しました。そして彼らがそれを組織したとき、「私たちはこの光を信じています。これが光です。これだけです。」彼らは何をしましたか?

ウェズリーはすぐにやって来て、彼らから離れました。

30 ウェズリーは何をしましたか? 彼らは彼と彼の兄弟のジョンとチャールズの後、組織しました。そして、それに沿ってアズベリーとそれらがやってくる。そして彼らの日々、彼らはメソジスト教会と呼ばれるも

のを組織しました。彼らは何をしましたか？彼らはそれ以上の光を拒絶しました。彼らはただ言いました、「これは光です。これだけです。」

それからペンテコステ派がやって来て、神がまだ聖霊のバプテスマを下されていることを彼らに示しました。彼はまだ彼らが否定していた彼の癒しの力を下げています。彼らは何をしましたか？それは別の光だったので、彼らからすぐに歩いた。

31 今は何ですか？私たちは約60年が経ちました。ペンテコステ派は、組織化しました。「私たちはこれです。私たちはそれです。」そして神はそれからすぐに歩きました。

今、彼はそのグループから選ばれた花嫁を連れてきています。それは他の教会時代には決してありません。ヒラデルヒアの教会時代はウェズリーでした。そして、ラオデキアの教会時代はペンテコステ派の組織であり、それはすべて獣の印にまっすぐに行きます。この兄弟が少し前に言っていたように、それは聖書です。それは本当です。そうです。彼らは...彼らはすべて彼らの光の前を歩くことを拒否するので、彼らは組織です...彼らは彼ら自身を組織し、「私たちはこれを信じています」と言いました。神が何かをするときは、聖書でそれを確認してください。

32 パリサイ人は「私たちはそれを持っています」と言いました。

サドカイ人は「私たちはそれを持っている」と言いました。

しかし、神はそれを持っていました！神は鍵をつけられ、光を見せられました。いつものように拒否されました。カトリック教会はルターを拒絶しました。ウェズリーはルターを拒否した。そして、ペンテコステ派もウェズリーを拒否しました。そして今日の聖霊はペンテコステ派を拒絶しています。あなたは他の人たちと同じようにフォーマルで冷たくなっています。誰もがそれを見ることができます。愛しています。あなたは私が知っている聖書に最も近いものであり、それが私があなたと一緒にいる理由です。しかし、耳を傾け、目を開けて、私たちが住んでいる日を見てください。鍵が再び回転し、光が点灯して、木を取り出す時が来ました。

聖書の、マラキ4章で、人々にあった元の信仰を送り出し、再び回復すると述べています。彼はそれを約束した。彼はいつもそれを行いました。彼は彼の言葉を送った、そしてその言葉が預言者に来たので、預言者が来た。そして彼らはみことばを持っていて、それを生かしました。

33 当時の組織とシステムは、あらゆる時代にそれを断りました。それで、彼らは今日それをします。神は今日、当時と同じように人をよみがえらせることができます。彼は組織を育てたことはありませんでした。歴史家に聞いて、歴史を見てください。組織が組織されたとき、それはそこで死に、二度と育てられませんでした。

神は個人に語りかけます。そうです。そして神は終わりの時に再びそれをするを約束されました、そして彼はそうするでしょう。神が約束されたこと、神がなさること、今日の約束された聖句を立証することができる光をつけること。

イエスは言われた、「ロトの時代と同じように、人の子の来臨の時もそうなるであろう」。あなたは見せませ...あなたは彼らが何をしているかがわかります。エホバを見てください、彼がなさったことです。私たちの父はすべてを整えました。世界にはたくさんの罪があり、ソドムにはすべての罪があります。生ぬるいです。彼に説教しているメッセンジャーもそこにいます。

34 選ばれたアブラハムのグループが引き出され、約束のあるグループが本当に息子を待っています。ロトも息子を探していました。しかし、アブラハムが彼を探していたような形ではありませんでした。

何が起こったのですか？それが起こる直前に、神は降りてきて肉体を現し、御言葉であると宣言しました。なぜなら、神のことばは両刃の剣よりも鋭く、心の中にある考えを見分けることができるからです。イエスは言われました、「人の子が来るときもまたそうなるでしょう」。

これらの約束は神聖なものです。彼らはイエス・キリストの唇によって語られました。天と地の両方が失敗しますが、決して失敗することはありません。神はまだ石で子供たちをアブラハムに引き上げることができます。ああ、そうです。

35 私たちは、私たちの旅の中で、イスラエルがそうであったようなものです。新しいマナが落ちたので、彼

らの旅のイスラエルは毎日新しいマナを手に入れなければなりませんでした。私たちはルターの光の中で生きたり、ウェスリーの光の中で生きたり、ペンテコストの光の中で生きたりしないことになっています。私たちは別の時代、つまり新しいマナにいます。彼らがそのマナを維持しようとするとうどうになりましたか？ 汚染されました。それは彼らを殺すでしょう。

それが私たちが多くの霊的に死んだ、いわゆるクリスチャンを得た理由です。彼らは別の日のまぶしさを食べています。彼らはすでに汚染されているマナを食べています。

ちょうど小麦の殻のように：それが小麦に入らなければ、それは小麦から出て行きます。そして、光が拒絶されたとき、やるべきことは1つだけです。それは、それを暗闇に変えることです。夜のどの部分も光を見ることを拒否し、暗闇に戻ります。福音でもそうです、そしてすべての時代でそうであることが証明されています。私たちはその時代に生きています。

36 昨日(過去)のマナは汚染されています。

「40年前、私はあることをしました」と人々が言うのを聞きます。そうです。しかし、今日はどうですか？ 昨日話した火のついた教会はどうですか？ 今日の教会はどうですか？ 今日の個人としてのあなたはどうか？ 昨日は今日はしません。

昨日は大丈夫でした。ルターのメッセージは、ジョンのメッセージのように時の光でした。しかし、そこにはもっと大きな光がありました。それで、ルターは素晴らしい光でした、そして私たちは彼を一シーズン楽しんだ。しかし、別の光が来て、彼を止めました。それがすべきだったのはそれとブレンドすることでした。そして、それは完璧な一杯のパンに行き、完璧な神のマナに行きました。しかし、彼らは何をしましたか？ 彼らは組織しました。人はそれに夢中です。神がそれを導く代わりに、人と彼の体制がそれに侵入しました。それをすべて盲目にしました。

37 ああ、この花嫁の木は今日、剪定されました。実を結ばない枝は剪定されます。イエスはそう言われました。ヨハネによる福音書15章。今何が起こったのですか？ 切り取られ、切り取られていることがわかります。覚えておいてください、木の中心は木の真ん中にあります。果物は常に熟します....木が実を結ぶ最後の場所は、その真上にあります。なぜなら、それは種子の中にある生命の中心から来る最も新鮮なものだからです。

38 それは花嫁の木です。

イエスは(花嫁の)彼は木でした。彼らは彼を切り倒しました。彼はエデンの庭にあった生命の木でした。彼らは彼を切り倒し、彼をからかうためにローマの木に吊るしました。彼は何をしましたか？ 神は三日目に彼を死からよみがえらせました。そして今日、花嫁の木があります。それは最初に、ペンテコストの時代にさかのぼって始まりました。

聞いてください、あなた方教会に属する人々。教会はニカイア-ローマで始まったことはありません。それはエルサレムで始まりました。ペンテコステの日に教会が始まりました。そして、彼らは何をしましたか？ 彼らはただ組織化し続け、神は枝を切り落とし続けました。それから彼らはルター派を組織しました一枝を切り落としました。ウェズリー一枝を切り落とします。ペンテコストそれが来るまで枝を切り落とします。しかし、神は花嫁の木を持つことになります。「潰瘍虫が食べ、幼虫が食べるものをすべて回復します、と主は言われます。」

マラキ4章は、父の信仰であるペンテコステの日と同じように、元の信仰に戻されると言っています。私たちはそれが来ると信じています。今がその時だと思えます。手足がしおれ、乾きます。そして、それらは木から取り除かれるので、果物は木の上でそれ自身を耐えることができます。

ああ、何と！

39 これらの光はすべて大丈夫でした。今日の教会はその光に加えて、今日受けたものです。木自体、または小麦は光で成熟し、葉から穀物へと成長しなければならないことがわかったので、収穫を終えることになります。そして、一粒から、それは光で成熟します。他の時代の光はこの時代の記録しか持っていません。ルターの光はウェスリーの光の記録を残しました。ウェズリーはペンテコストに光を当てた。それは同じ命であり、光によってのみ成熟します。人々がそれを見ることができるだけなら。

40 しばらく前、私はイギリスの女王(今のこの女王ではなく、他の女王)がそのような上質な紙を作ってい

る製紙会社に会いに行ったという小さな記事を読んでいました。そして、彼女が会社の社長からインタビューを受けたとき...彼は彼女を案内してくれました。彼女はその上質な紙がどのように作られるかを見たかったのです。彼は彼女を連れて行き、彼女にすべての偉大な報道機関や物事を見せました。そして当時、彼らはぼろきれから紙を作りました。私たちはそれをよく覚えています。それで、彼は部屋に入ってドアを開けました、そして、ぼろきれの束しかありませんでした。

驚いた女王は、「これらの汚いものは何ですか?」と言いました。

その男、または会社の社長は言いました、「それは昨日の服でした、ほら。汚れてしまいました。私たちはそれを捨てません。しかし、それは明日の紙になるのです。」

彼女は「私はこれを理解していません」と言いました。

彼は「明日それを理解するでしょう」と言いました。

41 したがって、彼らがこれらのぼろきれを印刷機に通し、特定のクレンジングの行列を通過し、特定の処理を経なければならなかったとき、それが出てきたとき、それは美しい紙でした。大統領は女王に彼女が知らなかった何かを見せようと思った。彼はそれに彼女のプロフィールを置き、それをこの美しい紙に押し込みました。女王がそれを受け取ったとき、彼女は自分のプロフィールを見ました。そして、それが特定のプロセスを経たので、昨日汚れたぼろきれだったものは....

ああ、もしルター、ウェスリー、そして彼ら全員がそれを見ることができたなら、その昨日の物は、聖霊が義化から聖化、聖霊のバプテスマへの光を明らかにするプロセスを経るときにのみ使用することができます。そして今、キリストの到来の最後の1時間は、教会が少数派に近づくにつれて、女王ではなく、彼自身を表す天国の王のプロフィールが入っています。ミニストリーは彼が持っていたのと同じ種類のミニストリーでなければなりません。

ルターの時代にピラミッドの底で亡くなった人々のように(ピラミッドの教えではなく、単なる例として)...

42 そのピラミッドは、そこにいた私たちの誰もがそうであるように、とても完璧です...かみそりの刃をほとんど動かすことはできません。私たちが知る限り、彼らはモルタルを入れていませんでした。その建築はとても素晴らしかったです。今、彼らは頭石を失いました。彼らはそれがどこにあるのか知りません。さて、その頭石が戻ったとき、それは残りの部分と同じようになります。開いたままの石に溶け込みます。あなたがそれに頭石を置くべきであるならば、それはそのようでなければなりません。そして、イエスが戻ったとき、彼はしみやしわのない、洗われた教会を見つけるでしょう。そして、それは彼が持っていたのと同じミニストリーであり、それが頭石を取り戻すでしょう。

43 ここの影にある私の手のように、それは影であり、それはより暗いだけです。私の手が大きくなるにつれて、ここではネガティブになり、ここではポジティブになります。ネガティブとポジティブになるにつれて、それはより濃くなり、より暗く、より暗く、より暗くなります。そしてついにそれは一緒に拍手し、ネガティブとポジティブが一つになります。それは教会とキリストが花嫁として団結し、彼にあったのと同じ霊が彼女に臨む時です—その教会が義化、聖化、聖霊のバプテスマから終わりの日に来るとき—そして今彼女を磨き上げて主の到来。

ああ、ペンテコステ派の兄弟、大まかな部分にならないでください。みことばで輝き、そのすべてを信じてください。今日起こっているように、これらの主義や物事に出てはいけません。すぐに「アバ、父よ」と頭石が来て、「わが神、わが神」と叫んでいるので、それに驚かないでください。

はい、私は心からそれを信じています。分かりますか? あなたは私が何を意味するか知っていますか? それは今のキリストであり、昨日のぼろきれ(ルター派、メソジスト派、長老派など)を取り、彼はそれをプロセスに通しています。どのようなプロセスですか? 聖霊のプロセス—彼らが持っていたプラスであり、教会とキリストが一つになるとき、彼が彼自身のイメージを押し付けるまでそれを作ります。神はそれを認めます。私はあなたがそれを見ると信じています。あなたがそれを見たら....

44 それは私にその話を思い出させます...偉大なウェールズのリバイバルが起こったとき、この国の何人かの偉大な男性は彼らが行ってウェールズのリバイバルを見て、何が起こるかを考えました。そして、彼らが調べに行ったとき、彼らはそれがどの建物に収容されているかを見るでしょう。彼らがウェールズに着いたとき、彼らは周りを回って、建物がどこにあるか尋ね始めました。彼らは、幸せな小さな将校が小さなトミーの

帽子をかぶって角に立っているのを見ました。彼はクラブをあちこちに振り回していました。

それで、これらの人々は彼に近づき、「サー、ウェールズのリバイバルがどの建物で行われているのか教えてくださいいただけますか?」と言いました。

彼は言いました「はい 私がそれだ、私だ!」

なぜですか? 彼はウェールズのリバイバルの喜びと光を放っていました。

45 ですから、今日のペンテコステ教会はすべきです。「イエス・キリストは誰ですか?」と尋ねてください。

「昨日も今日もそしていつまでも変わることがないのです。」

彼の福音の光はこの時代の言葉で輝いていて、イエス・キリストを当時と同じように国民に明らかにしているはずですが。彼はウェールズのリバイバルになるまで、ウェールズのリバイバルでいっぱいでした! 今日まで私たちに与えられている彼の言葉の力に彼を反映するまで、私たちはキリストでとても満たされるべきです。

兄弟たち、世の事に身がかがめないでください。しないでください。これらの心配はあなたを連れ去ります。福音にとどまりなさい。すべての単語を見てください。一部の父親が言ったことに戻らないでください。イエスが言われたことはこの日に起こることでした今、行きましょう。はい! 私たちはこの時代の光であり、福音を現しているはずですが。

ルターは彼の光であり、ウェスリーは彼の光であり、ペンテコステは彼の光でした。しかし、私たちは今、さらに進んでいます。私たちは花嫁の中にやって来ます一呼び出されて、選ばれました。覚えておいてください、もしあなたがそうなら、あなたはその将校のようです。彼はそれを彼の中に持っていました。

46 覚えておいてください、これは7番目の教会時代、ラオスの教会時代です。黙示録3章によると、彼らはキリストを拒絶します。聖書で言及されているすべての教会時代の中で、ラオデキア時代はそれらすべての中で最悪です。それは彼を裏返し、彼を拒絶し、彼を外側に置きました。

先日、教皇がローマからエルサレム(最古の教会であるエルサレム)に行く前に、月が真っ暗になるのを見ましたか? 月は教会の類似であり、太陽がないときは常に太陽の光を反射します。そして、それは真っ暗になりました。私はそれを3、4年前にここの黒板に描き、全国の何百、何千もの家にある教会を見せました。

それは何でしたか? 影:教皇が初めてここに戻ってきたとき、パウロの名前で来たときなど。それらの場所を通り抜け、川を渡るために川を祝福しなければならなかった、などなど。川には何の祝福が必要ですか?

47 私たちが今日生きているこの教会時代の問題は何ですか? 見えませんか? 神はそれを空で宣言し、御言葉で宣言し、新聞で宣言し、人々の間で宣言しました。目を開けて時代を見ることができませんか? これらは真実を証言するものです。これが時の光です。

見てください。偉大なエキュメニカルな動きが今その評議会に入り、黙示録17章で獣のイメージを形成しているだけです。あなたはペンテコステ派の人々がそのためにじっと座ってそれに入るつもりですか? 強制の時が来ました。今こそ、立ち上がってランプを整え、イエス・キリストの福音と力で輝きを放つ時です。

48 ペンテコステ派の友人の多くが教皇と一緒に座って「とても霊的な気持ち」と言ったとき、これは人気がないことを私は知っています。私にはそれは間違っています。それは聖書に反しています。神の言葉を真実としましょう。はい、先生。今がその時です。私たちは、これらの素晴らしい動きが自然の目にはよく見えるもので起こっているのを見えています。確かに。

カヤパは、その日に司祭たちに明らかにしていたことをよく見ていました。その日中ずっと、しかしイエスはみことばを生かしていた光でした。しかし、彼らの評議会などは、彼らの目を盲目にしていました。彼は言いました、「彼らを放っておいてください。盲人は盲人を導きます。彼らは皆、溝に落ちるでしょう。」

兄弟姉妹の皆さん、私たちは再びその時代に戻っています。再びその時間に戻ります。気が付いて、なぜ? 同じ原因。私たちが住んでいたこれらの素晴らしい光は、過ぎ去った時代には大丈夫だったことがわかります。私たちは彼らに反対するものは何ともありません。しかし、このラオスの教会時代には注意してく

ださい。覚えておいてください、それは拒絶されたキリストです。

そしてそれがまさに今の姿です。

49 この偉大な評議会は、すべてのプロテスタントを団結させるために動き回りました。このエキュメニカルな動きです。そして、それは何をしているのですか？ それは御言葉そのものを黒く塗りつぶしており、御言葉はキリストです。クリスチャンサイエンス、同胞教会、そして彼らの多くが他の偉大な組織の人々であるとき、彼らはどのようにそれを行うことができますか？...

処女懐妊を信じる人もいれば、信じない人もいます。これやあれを信じる人もいます。どうすれば不信仰に参加できますか？ 彼らが合意しない限り、2人はどのように一緒に歩くことができますか？ それらの中から出てきて、離れてください。そして、神の言葉を神に感謝し、それを守りなさい。イエス・キリストは御言葉を現す義務があります。

今日私たちが必要としているのは、マラキ4章の復活です。別の預言者が主イエス・キリストの名によって立ち上がり、彼が約束したことを正確に生み出します。それから男性は盲目的にそれを捨てて、彼らがいっつもしたように暗闇の中に戻って歩きます。

50 今すぐご覧ください。私たちは、同じ原因で、彼らが(教会)を拒否し、メッセージを拒否し、みことばを十字架につけ、みことばを取り出す日を見つけました。さて、あなたがそれに属していないなら、あなたはそれに属さないのです。あなたの教会さえ持っています。彼らはそれを閉鎖します。あなたはそれに入る必要があります。あなたがそれをしなければ、あなたは閉鎖されます。では、それはどうですか？ ああ、正しいことを支持してください！ 覚えておいてください、もうすぐ十字架刑の時です。

51 偽りの光は、少し前に世界がイギリスでこれまでに経験した最大の強盗を引き起こしました。これまでに行われた最大の強盗は、偽りの光によって行われました。700万ドルの強盗は偽りの光によって行われ、それがその列車の速度を落としました。そして、スコットランドヤードはその男を見つけることができませんでした、彼らはそれでとても滑らかに逃げました。それは、自然界で強盗によって行われた最大の強盗として知られていました。それはその最大の強盗から世界を奪いました。

そして、イエス・キリストの教会に対してこれまでに行われた最大の強盗は、偽りの光、つまり他の時代のまぶしさ、そしてこの時代に予測された光を拒絶することによって行われました。アーメン！ 偽りの光、昨日のまぶしさ。昨日のまぶしさの中を歩かないでください。今日は太陽の暖かさの中を歩きます。奇跡の時代は過ぎ去ったと言って、宗派の陰に身を沈めないでください。

52 イエスは言われました、「これらのしるしは信じる者たちに従う。私の名前で彼らは悪魔を追い出すであろう。彼らは新しい言葉で話すでしょう。これらのしるしは彼らに従うでしょう。」

彼らは言います、「使徒たちにとっては大丈夫です。私たちのためではありません。」それはまぶしさです。

イエスは言われました、「これらのしるしは、世界中に信じる者たちに従うでしょう。」はい。

さて、どうしたの？ まぶしさの中を歩く：それは最大の強盗を引き起こしました。それは教会からキリストを連れて行ったのです。昨日の冷たい信条によって、今日約束された言葉でキリストがどのように現れるかを見てください。種子(子孫)を温めません。いいえ。教会の最大の強盗—暖かい。しかし、冷たい信条の光は今日の種を熟成させないことを覚えておいてください。それは種を否定します。濃くなるのは地球上にある霧です。神が立ち上がって再び明かりをつけ、御言葉を生きさせる時が来ました。確かに。光—その冷たい信条は穀物を熟成させません。それは確かにありません。

そして、文明は太陽と共に旅してきたことを忘れないでください。

53 最初に言ったように、私は寓話、自然の流れを見なければなりません。私はそれをするための教育を受けていません。欲しくない。私は世界のすべての教育よりもむしろ神の多くを持っていることを望みます。私にはイエス・キリストがいます。私は彼が彼の言葉を正しく生きているのを見ます、そしてそれは私が知る必要があるすべてです。そして、もし人が神の御霊から生まれたなら、彼は聖書を調べて、それが今日の答えであるかどうかを見ます。

その時代の答えはキリストです。キリストはみことばです。みことばが生き返るとき、それはその日に約

束された光を示します。この暗いラオスの時代に、ほんの数人....「私は受け取る限り多くの人を懲らしめ、叱責します。悔い改めなさい」とイエスは言われました、「そして戻って来なさい」。みことばに目を向けてください。彼はみことばです。彼に来なさい。はい。

54 光を見てください。それは東から来て、西に行きます。私たちは西海岸にいます。3つの段階がありましたね。水を3回横切る3つの段階がありました。パウロから地中海を越えて、ドイツに来てください。ドイツはルターと一緒にライトアップしました。イギリスの海峡を越えて、アメリカへ、そして今....イギリスへとずっと、そしてイギリスは太平洋を越えてアメリカへとやって来ます。そして彼女は、ルターのメッセージの最後の部分が再びここ西海岸に来るまで、メッセージをたどっていきました。

55 そして、ルターからずっと昔から、その時代に至るまでの穀物の熟成から、それは今や福音の充満であるべきです。義化、聖化、そしてペンテコステ時代を通して示された光を熟成させる神の力は、主イエス・キリストの到来のために花嫁の木を熟成させるべきです。キリストが彼の教会で一人の人、彼と彼の妻、彼と彼女の花嫁として現れることができるということです。アーメン!

これが私たちが生きている時代なのです。これはその時代の光です。その中を歩きます。世の果てまで、救われてください。

56 この時代の教会のまぶしさは非常に欺くものでした、とイエスはマタイ24章で言われました。彼はそれが可能であれば非常に選ばれた人を欺くと言いました。ルターは(受け取る)ことはありませんでした、ルターはメソジストを欺くことはできませんでした。メソジストはペンテコステ派を欺くことはできませんでした。そうです、ほら。しかし、花嫁はどうですか? それがペンテコステ派の目をそらしたものです。はい。ほら、あなたはあなたの信条に戻り、あなたの形に組織化されました:何をすべきかをあなたに言うたくさんの人々を手に入れました。

57 聖書はこれらのことを約束しています。

神の御霊に満ちた男女が必要です。あなたが神の御霊をあなたの中に持っていると言い、神がここで特定の約束をするなら、その聖霊がどのようにそれを句読し、「まあ、それは別の時代には大丈夫かもしれませんが。私たちはそれをそのように信じていません。」それは聖霊ではありません。神と神とみことばに満ちた人は一人です。確かにそうです。それは結合、神と人間の間の結合の産物です。

58 男性の(夫)になる女性はどうすれば...逆に、彼が彼女にしてほしくないことをすることができるのでしょうか? どうすれば世界や宗派、組織と戯れることができるのでしょうか。そして時の明かりを消しますか? 兄弟姉妹、どうすればそれができるのでしょうか?

あなた方一人一人への敬虔な愛と敬意を持って、どうすればこれらのことを受け入れることができるのでしょうか? どうやってそれを聞くことができますか? それは再び私たちの膝に戻ります。彼らはカトリックを非難しているので、ルター派を非難しないでください。ウェズリーを非難しないでください。彼はルター派を非難したからです。あなたが今日起こっていることを非難し、それから離れるとき。あなたの教会がこの素晴らしいエキュメニカルな活動などに入っているのを見ると、あなたは皆、獣のしるしに導かれ、あなたはそれを手に入れました。

多くの誠実な人々がまっすぐにそこに足を踏み入れます。あなたは「彼らは善良な人々、聖なる人々だ」と言います。それらの司祭もそうだった。もし私がイエス・キリストの聖さ、または御霊の実をとらなければならなかったとしたら.....あなた方の多くはこれを続けてきました—今、それを無視することなく、私はすべての言葉を信じています—多くの人が「ああ、私は異言で話しました、私はそれを理解しました。」それではありません。いいえ。

彼らの多くは「御霊の実、それだけです」と言います。そうですか?

59 イエスを裁判にかけましょう、神は私を少しの間許してください。あなたを育てましょう、そうすれば私が司祭になります。私はあなたに言います、「この若い人はナザレのイエスと呼ばれる町にやって来ます。あなたは彼の言うことを聞かないでください。私たちは御霊の実を信じています。さて、ここで見栄えがする、あなたの親切な年老いた司祭:彼の祖父、曾祖父、すべてが司祭でした。彼は若い人生をすべて犠牲にした。彼はこの神学校にとどまりました。彼は彼らが彼に教えたすべてをしたのを見て、信じていました。彼はAからZまでの聖句を知っています。彼はそれを自分で書いたり、自分で聖句を書いたりします—一筆記者はそうします。そして、ここに彼は、壮大な男です。あなたは彼がそうであることを知っています。

「あなたのお母さんがあなたを出産していたとき、何が起こりましたか？ 誰があなたのベッドサイドに立っていましたか？ あの親切な老司祭。母と父が別れるとき、誰が彼らの腕を両方の周りに置いて、彼らを神に戻しましたか？ あの親切な老司祭。ええ。

60 「そしてここで、エホバは罪のための犠牲のために子羊を必要としています。ビジネスマン—彼らはこの都市に住んでいて、彼らは彼らの商品など、彼らの製品と生産物、そして彼らが売ろうとしているものは何でも売っています。彼らは子羊を育てません。そして、司祭は何をしましたか？ 彼らが子羊を売るためにそこに少し立ち上がって、この男がエホバと一緒に連れて行く魂を清めることができるようにしました。

「このナザレの仲間のイエスは何をしましたか？ 彼はどの教会から来ましたか？ 彼はどの宗派に属していますか？ どのようなフェローシップカードですか？ 彼を追い出します。彼は私たち一人一人を非難しているので、私たちは彼とは何の関係も望んでいません。彼は何をしましたか？ 彼はそこに上がって、男性が彼らの魂を救おうとしているところ[今日私たちが呼ぶ教会、あなたは霊的な心を持つ人々]を連れて行き、テーブルを蹴り、変化を捨て、ロープを取り、それらを結びつけました、そして彼らを追い出し、あなたの敬虔な老司祭を「悪魔の息子」と呼びました。

「あなたが困っているときにあなたにそのお金を貸してくれたあの親切な老人！ あなたが死んだとき、誰があなたのそばに立ち、あなたを葬りますか？ あの親切な老司祭。彼は御霊の実を持っています。しかし、このナザレのイエスは御霊の実を持っていますか？」

61 異言で判断することはできません。霊の実で判断することもできません。しかし、それは明らかにされた神の言葉の現れです。それを行うのは光であり、その光の中を歩く人です。イエス・キリストはそれでしたが、異言で話すことに依存していませんでした。彼は...御霊の実ではありませんでしたが、彼はそうしました。あなたはそれを判断することができませんでした。しかし、彼はそれを信じてそれを中断し、神はその日の約束のすべての言葉を彼を通して生きました。それが時の光です。それが証拠です。

62 聖霊が彼らの中に落ちると私に言う人が神の言葉がそうであることを否定するとき、彼には何か問題があります。私たちの神学校などで、ここで洗脳された神学や今日のものをすべて男性に教えるとき、何かがおかしいのです。彼らは神の言葉に対して同じことをし、彼らをそのエキクメニカルな虐殺に導いたでしょう。なぜ、確かにそれは間違っています。私はそれを主の名において語ります！ あなたは見て、それが真実でないかどうかを確認します。光、時の光！

それらの冷たい信条は決して収穫をもたらすことはできません。子羊の血に洗われて、みことばと一つになる教会が必要です。この日の教会のまぶしさは非常に欺くものであり、可能であればほとんど選ばれているとイエスは言いました。選ばれた者だけ—しかし、ノアの時代のように、8人の魂が救われたとき、それは人の子の来臨の中にあるでしょう。その時点で救われる人はごくわずかです。

63 それは何をしますか？ それは虐殺に直結します。

私たちは、私たちが生きているこの現在の暗闇の中で（私はこれを言って締めくくります）、私たちが生きているこの現在の暗闇の中で、私たちが今生きているこの時代に、天国...私たちに見せるために前に一度ここで判明しました。聖書によって7つの封印で何が起こっていたかが示され、ここで神はそれを天で正しく宣言されています。すぐに来て、それを地上で宣言します。そして教会はそこに向かって歩いています。

では、誰がその言葉を守る小さな花嫁を救うのでしょうか？ 彼女が一人で寒さになってしまったとき、彼女はなるのでしょうか？ 彼女は寒くなりません。この日の約束の立証された言葉...ああ、そうです。それはまるで...それは不可解です。私はそれが人々にあることを知っています、教会がただ言うのを見るのは...なぜ、それはほとんど同じことです。イエスはそうなると言われました。もし彼がそうするならば...それが可能であるならば、それは非常に選ばれた人を欺くでしょう。ああ、そうです。はい。

64 これは少し前にフロリダの人を思い出させます。彼は話していました、彼はフロリダで彼に出かけたシボレー車を持っていたと言いました。彼はそれをガレージに持って行ったと言った。そして、この整備士はそこに沿って進んでいました、そして彼はすべてをまとめました。そして、彼はそれを始めることができませんでした。そして彼は緊張し、建物の上を走り回ってこれを拾いました...そして立っている男は言いました、「私は私の車で待っています、先生。遅れました。聞き取れませんか？」

彼は「私はできる限りのことをしている」と言って、本当に緊張して続けていました。そして彼は歩きました。

身なりのよい紳士が直接歩いて来て、しばらくの間彼を見ました。そして、整備士に少し頭をぶつけさせた後、「これに触れてみませんか?」と言いました。電流が流れていません。」

それで彼は「私はそれについて考えたことはありませんでした」と言いました。それで彼は他の小さなものを、それがそこにあったものに変えて、電流を流しました。車が始動しました。彼は振り向いて、「あなたは誰ですか?」と言いました。

彼が誰であるか知っていますか? ゼネラルモーターのチーフエンジニア。彼がその物を作った。彼がそれを設計しました。

65 この時間に、兄弟、私たちがリバイバルで何が問題なのか疑問に思ったとき、何が問題なのでしょう? 私たちは材料とすべてを手に入れました。メカニズムはわかりましたが、ダイナミクスはどこにありますか? それが私たちがイエス・キリストを現場に動かすために必要なことです。どうしたの?

今日ここに、ダイナミクスに触れることができる、聖霊と呼ばれる方がいると言います。ハレルヤ! 彼は力学のダイナミクスです。私たちは今日立っています。私たちペンテコステ派は、米国で最も偉大な教会の1つであり、毎年何千回も何千回も追加されていますが、その聖霊はどこにあるのでしょうか。私たちは異言で話すことによって受け入れ、それがどのように機能するかを見てきました。メソジストは叫びによって受け入れられ、ルターは信仰によって受け入れられました。そうではありません。

それはみことばです。それは御言葉が明かりをつけ、力学をつけ、そしてそれらがダイナミクスになることです。それらはダイナミクスです。ダイナミクスが力学になると、物事が動き始めます。そうです。みことばを取りなさい。ちょっとしたことがめっちゃくちゃになっていると、それは始まりません。

すべての重み、すべての主義、すべての信条を脇に置いてください。ダイナミクス、聖霊がみことばを流れ、今日まで約束されているみことばを立証するためです。それから、神の偉大な教会は、ジェット推進機のように彼女の足元に上がり、彼女の主人に会うために空に飛び立ちます。その通りです。それをするまで、それはうまくいきません。それはどうですか。はい、先生。

誰がやるの? 私たちが考えているこの日に誰がそれを保持するのでしょうか? 覚えて、覚えて、兄弟。

66 それは私にその小さな話を思い出させます(話に戻らない)が、私たちがカールスバッドで集会を開いていたとき、私の友人がニューメキシコ州のカールスバッドに立っていました。そして、たくさんの人々がこの洞窟に降りてきました。ああ、私はそのようなものが好きではありませんでした、それが地面の約1マイルの深いところにあります。ここまで満足しています。それで彼らは降りてきました...私は低くなるのではなく、高くなりたいのです!

それで彼らはこの人を連れて行きました。そして、男友達がいって、彼の小さな女の子と小さな男の子は彼らと一緒に来ました。そして、彼らは大きな地下室に降りていきました。ああ、地表から数百、数百、数百フィート下がったと思います。そして、スイッチのそばにいた男が一齐にスイッチを切りました。そして、それはあなたがあなたの手を見ることさえできなくなるまで、あなたの顔の前でそれを下に動かすまで、とても暗くて暗かったです。

小さな女の子、小さなことは本当に怖かったです。彼女は声の一番上まで叫び始めます。「ああ、それは暗い、それは暗い、それは暗い」とヒステリックに叫びました。

彼女の弟はたまたま立っていました…。彼は暗闇の中で叫びました。「恐れるな、小さな妹。ここに明かりをつけることができる人がいます。」ハレルヤ!

小さな教会は何をするつもりですか? 心配しないでください。今日ここに明かりをつけることができる人がいます! それが主イエス・キリストです。そうそう。主イエス・キリスト。

67 覚えておいてください。

(盲目的)、イエスの誕生の時代の金持ちであった彼らは、エルサレムに着いてイエスについて尋ねたとき、エルサレムのまぶしさから消されたり盲目になったりしませんでした。彼らの神学はそれを説明できませんでした。しかし、彼らが脇を向いたとき、彼らは今日のあなたのビジネスマンのように、それを永遠の命に追いかけてきました。これらの組織のまぶしさを見ないで、みことばを握ってください。それはあなたを光へと導きます。

「恐れるな、妹よ。ここに光をつけることができる人がいます。」当時とまったく同じように、御言葉を生かすことができるキリストがここにいます。彼は昨日も今日もいつまでも変わることがない方であると彼自身を立証しています。信じますか？

68 立ちましょう。次の集会に行く時間の15分前になりました。手を挙げて、「神様、私に光をつけてください。私はみことばを信じています。私はそのメカニズムを信じています。主よ、私にダイナミクスを入れてください。」手を挙げて、「主よ、明かりをつけてください」と彼に叫びなさい。

ここに電気をつけることができる人がいます。あなたは共産主義になり、組織のあらゆる種類の潰瘍虫に食べ尽くされています。しかし、ここには明かりをつけることができる人がいます。その人は聖霊であり、ご自身であり、イエス・キリストは御霊の内に現れました。

主イエス様、これらの手それぞれに触れてください。手だけでなく、腕を心臓に向かって走り、福音の光を点けます。イエスの名において....



www.messagehub.info

説教の語り手

ウィリアム・マリオン・ブラナム

"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就される。" 黙示録 10:7